

美容施術の増加—再び

2006年 BOTOX と脂肪吸引が最人気

Washington Post ホームページより和訳

<<http://www.washingtonpost.com/wp-dyn/content/article/2007/03/20/AR2007032000447.html>>

\$12,200,000,000 にはどんな価値があるのか？

これは昨年、アメリカ人が容姿をよくするために美容外科手術、しわ用注入剤、フェイスリフト、脂肪吸引などのために費やした金額である。

American Society for Aesthetic Plastic Surgery (ASAPS) の最新の調査によると、2006年アメリカでは1,150万件の美容施術が施されている。

ASAPS 代表であるマイアミの形成外科医 Dr. James Stuzin は、「施術数は前年より1%増加しているが、ほとんどは BOTOX 注入やその他の顔用注入剤など、外科手術を伴わない施術が大幅に増加しているためである」と述べている。

Stuzin は、「総数は1%増加しているが、美容外科手術は9%減少している」とも述べている。

独立した調査機関と ASAPS が共同で、一般の形成外科医だけでなく、顔の形成外科医、皮膚科医など、美容施術を行う全国の医師に送付した14,000通の質問状について、「調査は以前のものより幅広い内容で行った。」と Stuzin は言う。

では最近の傾向はどのようなものなのか。Stuzin は次のように述べている。「BOTOX が男性に普及してきている。目元のしわや眉間の溝などの顔のしわを解消する注入剤は、それがしわ解消目的として FDA の認可を受けた2002年から急激に関心が高まっている。

BOTOX はしわ解消用として公式に認可される以前から、多数の医師がしわ解消目的で使用してきたが、それは一般的によく行われ、また合法的な処置であった。

2006年、女性、男性合わせて最も人気の高かった美容外科手術は、脂肪吸引、豊胸、眼瞼手術、腹壁形成術、乳房縮小である。女性に限れば、豊胸が最もよく施された美容外科手術であり、その数はアメリカで2006年1年間で384,000件に上る。

男性では脂肪吸引が最もよく施されている美容外科手術で、昨年は男性だけで53,000件行われている。

BOTOX は男性・女性問わず最も人気のある手術を伴わない美容施術であるが、その施術数は、女性では280万件、男性は30万件と大きな差がある。

BOTOX 以外の手術を伴わない美容施術では、顔をふくよかにさせシワを目立たなくさせる Restylane や Juvederm 等の ヒアルロン酸注入剤、レーザー脱毛、皮膚再生などが人気があった。

「手術を伴わない施術は、今まで手術を怖いと思っていた人や、手術費用を払う余裕のなかった人に美容外科への道を開いた。」と Stuzin は言っている。

また、彼はこのようなことも主張している。「ピーリングや注入剤をより若い年齢のうちに行い、フェイスリフトなどの大きな施術を後に延ばす傾向にある。」

全ての人が美容外科の増加がよいことだと考えているわけではない。

自己イメージ(self-image)についての論文を書いた New London の Connecticut College 心理学教授 Joan Chrisler は次のように述べている。「これらの数字には悲しくさせられる。この調査は、人々がありのままの自分に不満足であることを暗示している。これらの人々は危険を冒し、自分の体に様々のダメージを与えようとしている。」

Chrisler は 1997 年に美容施術件数が 446% 増となった統計調査結果に対し、「10 年で大きな飛躍である」と指摘する。「美容施術を受けると決めた人は、どのような副作用があるのか確認し、危険を冒してまで行うべきことなのかを考えなければならない。」

Chrisler の指摘はまた、美容施術を行う医師組織である American Society of Plastic Surgeons (ASPS) の公式の助言と同じである。今月公開された調査では、美容外科手術を受けた 40% 近くの患者が、副作用や合併症についてもっと積極的に学んでおくべきであったと答えていたことがわかった。

大手製薬会社 Merck & Co., が資金を提供し、市場調査機関が実施したこの調査では、301 名の美容外科手術を受けた患者と、316 名の医学的な必要性から外科手術を受けた患者が対象であった。

美容外科手術を受けた患者の 80% は、その体験に満足しており、33% は “どうしようもないほど” 術後の副作用や合併症に悩まされている。また、40% はもう少し詳しく手術について調べておけばよかったと思っている。

ASPS による、患者が医師に聞くべき質問より：どのような資格・経歴を持ち、どのようなトレーニングを行ってきたか。自分の受ける施術は何件の経験があるのか。どのような危険が伴うのか。どこで施術は行われるか。どのような種類の麻酔を使うのか。どのような合併症や副作用が考えられるか。回復期間はどのくらいか。回復期間中にしていいこと、してはいけないことはどのようなことか。

Chrisler は美容外科手術をすると決めた人に、過度の期待をしないよう呼びかけている。

「より幸せになれると考えがちですが、必ずしもそうとは限りません。より幸せになるには、外見だけでなく内面も磨かなくてはなりません。」

翻訳:株式会社 総見
国際マーケティング部